

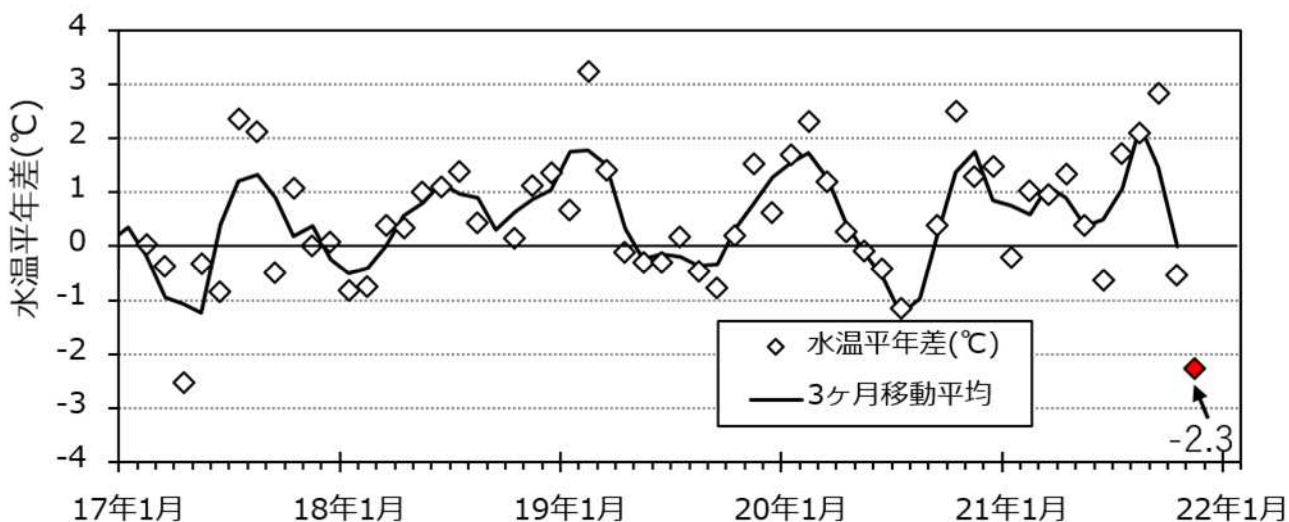
【水温の変動】

11月29、30日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

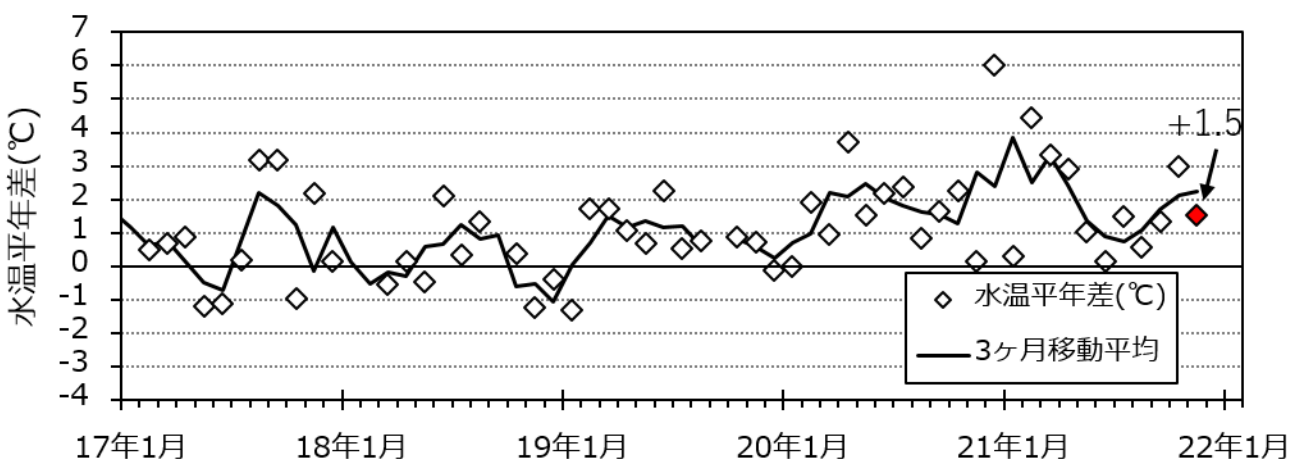
観測が下旬となったため、湾口部では平年差 -2.3°C で低めとなっています。沖合域で平年差 $+1.5^{\circ}\text{C}$ で高めでした。

11月29日の人工衛星画像によると、黒潮は遠州灘沖の北緯29度付近まで南下した後、八丈島の西側をS字状に北上し、その後房総半島沖へ流れています。黒潮からの遠州灘への暖水波及はやや弱まっている模様です。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 16.8~21.6°C、水深 100m で 17.1~19.8°C、水深 200m で 13.2~14.2°C となっていました。水温の鉛直断面図をみると、渥美外海の水深 0~100m は鉛直混合が進み、均一な水塊となっています。また、等温線はやや右下がりになっており、東向きの流れがある模様です。クロロフィル a 濃度は、湾口部が高く、渥美外海では低くなっています。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

